

個人2

受 令和 6 年 8 月 27 日
付 (午前)・午後 9 時 00 分

一般質問（代表 (個人) 通告書

令和 6 年 8 月 27 日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 丸山幸子

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 9 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 4 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項（大項目）ごとに一問一答
○	1 回目から 質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質 問 事 項 No. 1 - 1	防災・減災対策をより進めるために
要 旨	本年１月１日に発災しました能登半島地震から、８か月が経過いたしました。先月、尾張旭市社会福祉協議会による輪島市支援活動報告会が行われました。その報告の中で、被災地の景色が災害発生時と比べて変化が見られない写真が何枚かありました。復興が遅れていることの原因となる課題を考えながら、改めて、能登半島地震被災地へ想いをはせ、我がまち尾張旭市における防災・減災対策により力を入れていく必要があると感じました。 また、８月８日には、宮崎県日向灘を震源とするマグニチュード７．１の地震が発生いたしました。この地震を受けて、気象庁は南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震が発生する可能性が普段と比べて高まっているとして、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。 気象庁は、この情報が特定の期間に必ず地震が発生することを伝えるものではないとした上で、巨大地震に備えて地震への備えを改めて確認してほしいと呼び掛けました。発表から１週間が経過し、南海トラフ地震臨時情報に伴う特別な呼び掛けは終了しましたが、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではありません。私たちは、今こそ、防災・減災対策をより進めるときであります。 （１）災害関連死をどう防ぐか 地震など災害からは生き延びることができたが、その後の避難生活などで命を落とすのが「災害関連死」であります。能登半島地震での災害関連死は、８月９日時点で１１２人になります。災害関連死は、まさに救えたはずの命であります。 災害事例の分析の専門家である関西大学の奥村与志弘教授は、災害関連死の「フローチャート」を作成し、死因と死につながる間接的な要因を結び付けて可視化しました。死因の７０％余りが肺炎などの「呼吸器系疾患」と、心不全などの「循環器系疾患」である事が分かり、その結果、改めて見えてきたのは、避難生活の環境の悪さが関連死につながった可能性を指摘されてみえます。そこで、災害関連死を防ぐために必要なことについて、以下お聞きいたします。 ア　避難所の環境改善について 避難所生活において、災害関連死への影響を与える大きなものは、トイレとキッチンとベッドであるとされます。断水で水がなくなり、水洗トイレが使えなくなり劣悪なトイレ環境となります。すると、トイレに行きたくないと、排泄回数を減らすために水分摂取を控え、脱水症状を引き起こします。その結果、口腔内の細菌が増えて、誤嚥性肺炎を引き起こし、亡くなる方が出てきます。

※ 申し合わせ事項に留意する。

※ 申し合わせ事項に留意する。

※ 申し合わせ事項に留意する。

別紙

氏 名 丸山 幸子

質 問 事 項 No. <u>2</u>	本と給食のコラボ「ブックメニュー」について
	給食の献立に絵本やお話に登場した料理を取り入れている小中学校が全国各地であります。この取組は、「ブックメニュー」「図書給食」「おはなし給食」などの名称で行われているものです。 校内読書週間や給食週間などに、放送で料理の掲載図書の紹介をしたり、図書館では展示・掲示コーナーを作ったりしています。本と給食のコラボは、読書が苦手な子どもにも、本を読みたくなるきっかけを作ってくれと共に、食への関心にもつながる取組です。 本と給食のコラボ「ブックメニュー」導入について伺います。 (1) 市立図書館・学校図書館と給食のコラボ「ブックメニュー」について (2) 絵本と保育園の給食のコラボ「ブックメニュー」について

※ 申し合わせ事項に留意する。

質 問 事 項 No. <u>3</u>	ペットと一緒に入れるお墓について
要 旨	現在、ペットを大切な家族の一員と考える方が多くみえます。本市において、ペット防災に先進的に取り組まれているのも、ペットは家族という価値観が当たり前のものとなっていることによるものだと思います。家族であれば、死後もペットと同じお墓に入りたいという要望も当然あります。 ペット霊園の数は増加の一途をたどり、それと共にペットと一緒に入れるお墓の数も着実に増えてきています。基本的に、お寺のお墓にペットを埋葬するのは、タブーとされてきました。しかし、ペットを飼う人が増え、社会全体のペットに対する意識も変化しお寺によっては、柔軟な対応をしているところもあるようです。 本市の旭平和墓園において、ペットと一緒にお墓に入ることは可能でしょうか。

※ 申し合わせ事項に留意する。

※ 申し合わせ事項に留意する。